

目標達成計画

作成日: 平成 25年4月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	開業以来6年が経過した現在、スタッフの介護技術のレベルは向上してきたが、ご利用者とご家族の「思い」に対する理解が十分でないスタッフが散見される。今一度定着させたい。	介護従事者としてご利用者とご家族の期待と意向を最大限に尊重した介護を実践したい。	①グループホームスタッフ各自の考える介護理念を発表して会社の掲げる理念とすり合わせを行う。 ②ご利用者のケアプランをスタッフ全員に周知徹底させる。 ③サービス向上のための内外研修に参加。	3ヶ月
2	13	将来の幹部スタッフとしての人材育成の必要性を感じる。	会社及び施設内におけるキャリアプランと研修カリキュラムを定着させて、幹部スタッフを要請する。	①各種研修への参加を推奨 ②幹部研修の実施(フロア長他) ③資格試験への受験応援 ④勝因面接の実施	6ヶ月
3	35	緊急災害時(火災・地震等)の際のご利用者(含む宿泊者)の安全避難、及び、安全確保の点に課題を残している。	緊急災害時(火災・地震等)の際のご利用者・スタッフの生命、身体の安全を確保する。	①防災避難訓練をレクレーションの中で毎月実施 ②消防署指導の下に消火避難訓練の実施 ③緊急時搬出優先順位の作成とシュミレーション ④近隣の協力要請	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。